

五月十日

野に流す水は人々の心を洗ふ如く
 ありては世に清く静かに暮らす
 事なり。此の世に生かされしは
 幸なり。此の世に死なざりしは
 幸なり。此の世に病まざりしは
 幸なり。此の世に苦しむ事な
 り。此の世に苦しむ事なり。此
 の世に苦しむ事なり。此の世
 に苦しむ事なり。此の世に苦
 しむ事なり。此の世に苦しむ
 事なり。此の世に苦しむ事な
 り。此の世に苦しむ事なり。

天舟仙地とよむ人玉阿

如く神の如く金今

六月句合

おとろやゆたしのいさよ	相皇木	九早
踊子にたひまよふあな	全	桂井
那知黒の石の志や天北川	全	湘河
その川磯の草子喰ふむら	全	其朝
ぬちくまゆ所石も踊思	京	路一
ふちおく空の空や	信中嶋	其尹
持所へ月も白く照らす	才	彦松
白ふあま川	全	仙臺
白鼻うし坊も雪や一松や	全	挑經
浦北に狐村あるも	全	松山
天の向きくけに草のあま	全	大頭
死さや子浦子の舟も	全	古道
二ま端へありて修あ	全	平山
ち此夜のゆりや	全	漢菘
彼もあ北	全	開日
あうけぬ小舟も見ら	全	まひ
天北川磯より波も	全	かろ
ねまて子も	全	民占
な風も	全	笠正
瘧病の	全	志塩
らるぬも	全	松司
血脈を	全	松子
星左や	全	玉笑
大佛の	全	馬先
掉りり	全	歌傘
あま	全	元堂
物の	全	白魚
ぬし	全	一曉
踏る	全	晴坡
お	全	卓老
錦	全	九朴

おくと

昔も鳴るる包の小あや夏のみ月 氏本庄 萱休
 こき針の根よかきくぬえや 下徳小川 旭春
 白うら灯もゆてぬ 全 如柳

羅く 撰者 下川魚 全令

天早を地 撰者 一人 撰者

七月の合

本家の膝に書きし一里で鴨の啼 相アロキ
 山寺の里のあまの井よここふ 九鼻
 是はこれ地震のさすけやきうん 佳順
 一子空の鷹の追跡を飛目このき 都雀
 鴨の空のあのかき屋の空のうら 喜篤
 雲の雨相恨く鴨のあり聲 月半
 鴨啼や井の火と見えぬ古ま家 あかり
 西顔ふははれ世をぬ衣掛 阿柳
 樓のやぶの浦のさぬさ橋のさ 龍麿
 衣掛とてはたかや二日月 うはら
 鶴僧とてはたかや和破の戸 思孝
 鴨のこの秋とてはたかや 其尹
 松植の園のさすけをよきま 印月
 雲にまき 里のうらさすけ 松菴
 かき破ぬのさすけとてはたか つとま
 鴨啼のさすけとてはたか 物尾
 石のさすけとてはたか 根萩
 大津の鴨のさすけとてはたか 里梁
 さすけとてはたか 車末
 一聲の鴨のさすけとてはたか 雨月
 やすけとてはたか 海也五
 りお着せ家破る鴨のさすけ 椽々
 一絶の鴨のさすけとてはたか 松壽
 白の音と相にたけり 鴉夕
 りおの鴨のさすけとてはたか 松声
 遠の鴨のさすけとてはたか 堂休
 志の音と相にたけり 叟石
 早稲の鴨のさすけとてはたか 春守
 省の鴨のさすけとてはたか 天橋
 撮の鴨のさすけとてはたか 卓老
 竹馬

その川にさすけとてはたか 相オキ
 大佛の空のさすけとてはたか 忠捕
 躍るさすけとてはたか 旧友
 高き高き踏水橋 東奈
 ふ松の子の力のあるさすけ 印月
 如柳

聖母地 撰者
 金令

天 十中 あつち 十中 地 十中 雲 十中 人 十中 於 十中 花

八月白合

鶴也希有なまよはるのつく 相アツキ 九鼻
 聖哲実の燈渡り 、 ちり 、 佳頂
 松葉の山智路 、 林の上 、 川合
 笠のやうな 、 糸 、 糸 、 山隠居
 花のあつ 、 眼 、 糸 、 子桂
 松葉の松 、 糸 、 浦安舟 、 子丸
 松葉の風 、 糸 、 浸 、 仲女
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 一悦
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 松合
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 思慕
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 草鳥
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 友外
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 菅水
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 乙兆
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 蛙眼
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 保志
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 里石
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 車來
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 閑月
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 玉矢
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 弓厚
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 志塩
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 有物
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 巨泉
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 貞二
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 妻保
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 烏光
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 思三
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 秋里
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 掠動
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 天橋
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 明良
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 應
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 蛙眼
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 旧友
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 雀主
 松葉の山 、 糸 、 糸 、 風蝶

隆奥との花火 撰者 金令
 色ぬ天の門

天晴夕地、九鼻 人仲女

六月句合

穂女乃乃... 武川田谷 有郷
 ... 桶川 龍谷
 ... 八幡山 風蝶
 ... 江戸 直也
 ... 下毛栃木 ありつ
 ... 武日野 毒木
 ... サカイ 有物
 ... 下毛栃木 まゆ
 ... 柳也... 木丈
 ... 秋風の... 棟々
 ... 武熊谷 ろ律
 ... 江戸 未我
 ... 秋風也... 卓老
 ... 下サテウシ 半兔
 ... 秋風... 竹馬
 ... 江戸 荷乙
 ... 下毛栃木 木丈
 ... 遊... 濱菖
 ... 江戸 閑月
 ... 秋... 瓢傘
 ... 上毛鬼石 卓老
 ... 下毛栃木 おさ丸
 ... 下サテウシ 梓
 ... 江戸 如柳
 ... 人... 麥舟

○再考

水底... 下毛 志塩
 ... おくれ 下毛 志塩

合秋... 下毛 志塩
 ... 親毛... 撰者 田喜

天 十九 卓老 地 十七、荷乙 人 十六、有物

九月句合

秋のくれ賣れは病するのほろ 相厚木 佳順
 物瓶 全 川舎
 あつれ 全 露月
 菊の多 全 月年
 うき秋の秋は又ありき 全 牛佛
 舟 全 兵船
 菊の山あり 全 旧友
 尤奥寺の橋 全 巴好
 柳打の傍 全 乙兆
 菊の池 全 印月
 菊の 全 壺山
 咲 全 古
 咲 全 車来
 生 全 総人
 淋 全 香風
 菊の 全 平山
 下 全 岡月
 雲の 全 本史
 下 全 笠正
 下 全 松緑
 下 全 弓得
 下 全 物
 下 全 鳥光
 下 全 董林
 下 全 呂律
 下 全 素白
 下 全 葵生
 下 全 嘉川
 下 全 卓老
 下 全 九朴

おんき

舟 上毛大塚 里旭
 物 曲青梅 田原

移り 撰者 全合

天 上毛 人 地 上毛 高 律 人 旧 友

十月の巻

ありまの落代も限の中より
 登の文古人教多しあつたり
 降りて相白無しあつたり
 山崎の山崎もあつたり
 庵の山崎もあつたり
 舟仙の舟仙もあつたり
 不_レ得の不_レ得もあつたり
 龍磨の龍磨もあつたり
 喜_レ驚の喜_レ驚もあつたり
 佳_レ喬の佳_レ喬もあつたり
 安_レ成の安_レ成もあつたり
 根_レ救の根_レ救もあつたり
 蝶_レ舞の蝶_レ舞もあつたり
 秋_レ窓の秋_レ窓もあつたり
 下_レ菊の下_レ菊もあつたり
 野_レ鳥の野_レ鳥もあつたり
 秋_レ龍の秋_レ龍もあつたり
 長_レ白の長_レ白もあつたり
 九_レ雀の九_レ雀もあつたり
 筆_レ露の筆_レ露もあつたり
 麥_レ田の麥_レ田もあつたり
 笠_レ止の笠_レ止もあつたり
 呂_レ律の呂_レ律もあつたり
 元_レ堂の元_レ堂もあつたり
 瓢_レ傘の瓢_レ傘もあつたり
 荷_レ乙の荷_レ乙もあつたり
 仙_レ風の仙_レ風もあつたり
 嘉_レ川の嘉_レ川もあつたり
 早_レ老の早_レ老もあつたり
 明_レ良の明_レ良もあつたり
 子_レの一人北_レの一人北もあつたり
 佛_レの佛もあつたり
 輪_レ雪の輪_レ雪もあつたり

天^{十一}急^{十二}地^{十三}阜^{十四}人^{十五}乙^{十六}
 外^{十七}志^{十八}枯^{十九}尾^{二十}金^{二十一}令^{二十二}

撰者 金令

霜月句合

水鏡唱佐五とびも燦の音 相厚本 玉阿

正月ハ今日切も暮す掃 全トッ 舟仙

ふるふとささくららるる 全 露月

燦りりてささるのまゝ 全 不爾

燦掃て空霧拂うせ 全 矢如

泥り面もして小鴨の氣味 い七 一昨

燦掃や小舟も舞あふ 信中 其尹

燦の心自事大さ 奥仙 古道

燦掃 全 可人

あまの有破ゆ 合手 掃石

的星もあかり 全石 松隅

燦の日のそれ掃け 下事 友量

燦の日に雲霧 全初 山

あまのささくら 全 閑月

ふらふら燦の燦 全三 月

鄙 全 月

水 全豆利 共

あまの 全安 水

あまの 全安 彦

あまの 全玉造 秋窓

水 武楽庄 董休

あま 全熊谷 柳子

あま 全 國卷

燦 江戸 文暁

燦掃 全 文暁

燦掃の 全 文暁

燦の 全 一曉

燦の 全 卓老

おくさ

つりの 常葉 里泉
燦 上并 車泉
燦 全 車泉

馬を代

里ハ 燦の

撰者

金令

天 ナリ 水 ナリ 地 ナリ 人 ナリ 董休

天竺の^上人、言す

天竺の^上人、言す

○

天竺の^上人、言す

天竺の^上人、言す

天竺の^上人、言す

天竺の^上人、言す

金令舎審帖



金令舍寶帖